

新年度に向けて

若い力での教化を!



会長 小泉朋昭

います。これは戦後の教育の中で育って来た我々青年神職も例外ではなく、自分自身を見つめ直した上で、現代人の感覚としての意見交換・又活動の場を神青会に求めてもらいたいと思います。

特に本年は、都氏青協の十五周年に当り、来年は全国氏青協の二十周年が東京に於て開催されますので、この機に、青少年対策を教化部の柱とされている神社庁のご指導のもと、氏子青年会結成の輪を大きく広げてゆきたいものと存じます。

本年度の残されたボーリング大会・日の丸パレード等の諸事業に全力を傾注し、新年度の明日へ向っての運動展開へと結びつけたいと思えます。

又、神青協に於ても、四月には札幌に於て「国を愛する心」と題し、北方領土・教育・憲法問題についての中央研修会が、又、六月には沖縄復帰十周年慰霊祭・総会が開催されます。会員皆様の一層の参加協力を期待する次第です。

昭和五十六年版、いわゆる「青少年白書」によれば、社会生活に満足感をもつ青少年は、七八・三%で、刑法犯少年は戦後最高であり、又その非行の増加について「社会的家庭的規制のし緩」「本人の自己抑制力の欠如」にある、と言っています。

今や斯界にとって教化の必要性は異論のないところであります。が、我國の興隆を双肩に担う青少年が、困難な問題に立ち向い刷新、意欲に燃えるのではなく、自分の生活のみに満足感をもっているとしたら、地域社会を基盤とする神社は、その教化育成を度外視してこれからの発展はあり得ないと思

神棚奉斎運動の座談会が平岩満雄先生を講師に、三十名を越える会員参加のもとに開かれ最初に色々な神棚に關したお話しを伺った後、質疑応答の形式で行なわれた。

先生 神棚とは何時頃家庭で祀られる様になったか、棚の上に祀る根拠は、仏壇は日々のおつとめがし易い所にお祀りされているのに対し神棚は不便ともいえる高い所にお祀りされているのはなぜか等色々疑問があります。神様は尊いので高い所にお祀りし、人間は低い所から拜むということが土台になっているわけです。

桃山末期からの権現造り、拜殿から石の間に一段下がり参列者が一段上った所に位置し神職が低い所にお祭りをする事は今の我々の感覚では何か抵抗を感じる訳です。

タナという言葉は古事記の身襲の中で伊耶那岐命は三人の貴い御子を得たと、大変お喜びになって頸に掛けておいでになった玉の緒をゆらゆらと揺がして、天照大神にお授けになって「あなたは天をお治めなさい」と仰せられた。この御頸に掛けた珠の名を御倉板舉

の神と申します。と出て来る、このタナが関連をもつと思われれます。

又日本書紀の中で、今まで御床を一つに神殿を一つにして同床共殿であったものを恐れ多い事であるから別にいたそうというくだりがあります。それまでは家に祀られていたことになりす。

山形県で昔の名家に泊った時、仏壇の上に神棚(宮型)があり大神宮様、氏神様等がお祀りされて

座談会

神棚奉斎運動

(一軒でも多くの家庭へ神札頒布から)

がち批判出来ない節もあります。東京では殆ど神棚と仏壇とは別々にお祀りされています。

大阪では特にえびす棚が設けられ、えびす神社も祀っています。江戸時代老舗のつきあたり縁起棚が今の神棚の型で設けられ達磨等がのせられ、奥に別に神棚があったそうです。江戸のごく末期に戸棚の中段に、お稲荷さんを祀り日常の敬神の行為を行っていたが当時別に神棚があったかどうか

は、はっきりしません。明治になってもこの様な型は残っていました。最近の都会の建物では構造の面でも昔の様な立派な神棚は祀れないし、アパート、マンションには神棚を祀る場所もなく、筆筒等の上に祀ってあります。青年会

前に作った宮型も手段としては大事な事ですが、あまり簡易でも良いものでしょうか。せめて神酒、洗米、塩、水ぐらいは供えられる所が欲しい氣もします。又、これか

ら先どの様にして神棚奉斎に取り組むか、正面きってお櫛をあげ、お燈明をあげることが出来る様な神棚という事に干渉すべきか、すべきだろうか出来ない事柄も出てきます。典故となる事柄は天津神籠の御神勅、お鏡の御神勅と神社の在り方と各家庭のあり方、一家の中心となるものがなくてはなりません。地方には立派な仏壇もありますが、東京では仏壇も小さくお位牌の前に線香を供えることが出来る位いのものですから、まして神棚とは縁が遠くなっているの

でどの様に対応するかが問題です。

中田(憲) 氏子の方が「私は一日、十五日には必ず神社にお詣りに行くし他の日にもお詣りしています。氏神様は氏子をお守り下さっているのだから家に祀ることはない」と言われた時、お札とはどの様なものかという答を持っていないと対処しきれません。

小俣(宗) 伊勢神宮の神札とは

先生 伊勢神宮の大巫の主旨、昔は神宮に於いて個人の祈願、祈禱は取り扱わなかった。伊勢にお詣りした人は自分の檀家寺がある様に御師さんの所に行き、御師は

その人の為に祭壇を設け千度万度の祓をしそれを祓い箱に入れ伊勢のノシ、曆を持って檀家を廻る。後に太陽曆に変わってからは誰も買わなくなり、御維新に明治天皇の思召しで明治五年からは誰でも受け易い十銭を初穂料として伊勢に奉納するという形で役場から大麻を頒布しましたが、頒布の点

(扱いの問題)で後に氏神様に依託され今日の形になりました。大麻は千度万度の祓をしたシルシの麻の棒に紙を巻き付けてあるのであり、御神体ではなく、お詣りのシルシであり、毎年新しい麻を各戸に配る事が大事な事なわけです。

山内 注連縄のはり方が左右反対の家が多く、何度話しても変える様子がないので聞いて見ると関西の方では太い方が左にくるのが多く、奈良の大神神社も左が太く自分の崇拜する神社に合せている様でどちらでも良い様に思います。又、鶯が注連縄を販売しているが買う方は、はり方もお札の祀り方もわからない様なので神社庁の「家庭のまつり」を何部か差し上げていますが効果の程は疑問です。
先生 昔、花柳界は入船型、一の

字型の様なはり方をしていたのですが我々の場合は右が上位ですから、あくまでその線で行くのが良いのではないのでしょうか。

大村 私の頒布している所は都心部で昼の人口は多いが夜間人口が少なく、全体的にビル化した地域で、住んでいる方もビルの最上階に移ってしまい他の階は事務所だけという型になっています。一体でも多く会社又、家庭にと頒布方法も回覧を取り入れるなど努力し、神札頒布には力を入れていますが神棚まで考慮して来たか、神棚奉斎を考える時神札に合わせ神棚の申込みを取る等の方法を考えていけない事には前進してないのではないのでしょうか。

村岡 神棚、神札の性格をはっきり示さないとお進めするにもお進め出来ない、伊勢の神札は御神体でないという事になると一般的に御分霊と考えている人にはどの様に説明したらいいでしょう。
先生 倣||トコロとか御祈祷したトコロという意味というのが甲骨文字でいくと人間が水を浴びている図で「修」型をつけていくお祓が完了した意味の図でお祓をしたシルシをお祀りするので。

植粟 分霊である関連づけるならば、そうすると大祓の時、縁起物と一緒にしてしまっても良いのですか。

先生 御分霊という事になると降神してあるのだから昇神しなくてはなりません。

山崎 今の時点では御分霊としてお祀りされている方はその様に受けとめていただき又、そうでない方には千社札の逆の考え方で家の方に神様の標をお祀りするという型になるが、我々からセロテープでも良いとか、筆筒の上でも良いとか言う事は神札の位置付けというか価値というか、わからないが下げる事になるし、神棚との関係、お供え物等の関係をどう説明するかが問題になると思うのですが。

三木 護摩札と神社の神札と一緒に祀りしている家がありますが本来は別の棚に祀るべきではないのでしょうか。又自分の信仰している成田山等のお札が正面に祀っている家もあり、神社のお札とお寺のお札とは上下関係はないと思うがその位置関係を伺い度いのですか。
先生 日本人が一番大切な天照大神様を中心に祀っています。つき

つめると、どの宗教もほんとうは太陽で、日本人は朝日を拝み、仏教は西に没む太陽、キリスト教は中天に昇った太陽を拜んでいます。日本人は日本の国の御先祖様である天照大神様を一番中心に祀り、次に自分を守って下さる氏神様、その他信仰するお社のお札は左側に祀る、仏教ではお札を頒布することはなく、真言宗では護摩をたいたあかしを板に書いて渡しました。日本のお札も同様の意にとらえても良い。お祓いをしたシルシを祀る、神様のものだからお札を分け霊ととらえています。境内の砂利をひろっても神様の御霊がこもっていると、とらえるべきです。

小俣 大麻が祓ったシルシであるとするならば、なぜ高い所に祀り洗米等を供えるのですか。
先生 神様は尊いものですから高い所に祀るのです。
村岡 大麻がお祓いのシルシであるならばハガキ一枚でも良いのではないのでしょうか。
先生 祓いを納めたお霊のこもった有難いものなのです。

今井 お祓い箱はお祓いたもので祓戸の神の御神霊をいただいた

ものとなり、それがなぜ伊勢を拜むことになるのですか。

先生 伊勢では昔庶民の祈禱を受けていることがなく御師が受けてきて千度万度の祓をして各家にノシ等を付けて配りました。

植栗 今の神宮の神職さん達は神札と、とらえているのか大麻ととらえているのですか。

先生 伊勢神宮は、はっきり大麻といっています。大麻であるから尊い、分霊と相手がとらえても良し氏神様から配っている神札も神様がのりうつっている、とらえるべきです。

三木 大工さん等が神棚は三尺六寸五分の桧の柱目板でなくてはいけない等自分側の立場でいうが私はリング箱の板でも、きれいに滌い棚にすれば神棚になると思うし、その様な立派な板では金銭的にも遠のいてしまう。

中田(憲) 実際大工を呼んでやることがめんどろくさいのでは、神主がそんな立派な神棚でなくても良いと言うわけですが。

先生 それが問題です。かつて青年会で作った神棚にも、簡易すぎたおそまつになるとの批判もありましたが私は祀らないより祀る方

が良いと思うし、祀る以上は丁重にお祀りしたい。これからはなるべく建物にあったもので、おおげさなものでなく、先づ簡単なところから手をつけていくことだと思います。

中田(昌) 青年会でも当時問題になったがパンフレットには、「家の御繁栄と共に大きくして下さい」と入れてありました。ただ、これでも良いという事になると問題になる一方で洗米等をお供えするようになっている面でも問題では。

これからの青年会の神棚奉斎運動というのは頒布の苦勞話ではなく、今まで受けてない家に祀ってもらう事であり、例えば新しい団地をきめて一軒ずつまわるとかの方法しか青年会にはないのでないのでしょうか。

先生 へたすると創価学会みたいになってしまいが、それぐらいの意気込みは大事だと思います。

植栗 神棚の板の上には千木鱈木が付いたお社の型になっている神社形式をとっているのに紙製からだんだんにとり姿勢が神棚に關して間違つて相当進んでいると思

います。
中田(昌) それが一番問題になり

最初は何かを置いてもらうという事からはじめたいと思う。

山崎 千木鱈木までいくと伊勢神宮の問題にまで及び内宮は偶数、外宮は奇数ということで神棚問題は処理出来なくなる。

中田(昌) 伊勢の大麻が八寸なのに宮型の小さいのが有り入らない。業者とも話し合い八寸の神札が入る様指導すべきではないでしょうか。ロッカー、箆筒の上に置くようなものの方が良いのではないのでしょうか。

荒井 ポータブル型で五色等が供わったものもあるが、なぜ祀るのかを町会等を通して理解させた上で祀ってもらう方が良いと思うのですが。

先生 宮型の問題ではなく先ず祀らせる事、清浄な所を考えてもらう事が先決だと思います。

渡辺 今の様な形式で神棚を祀るようになったのは何時頃ですか。
先生 江戸の末期頃で縁起棚からきているのです。

八木 お札に対する考えも色々ありますが地鎮祭の時に宮型にお札を入れて置いてこられる神社さんがある様ですが、一番奉斎運動で進んでいるのではないかと思いま

す。東京中では地鎮祭の数は大変な数にのぼると思います。家の隆昌と共に大きく変えて下さいと言付け加えるだけで奉斎運動はスムーズにいくと思うし年間通して出来ませう。

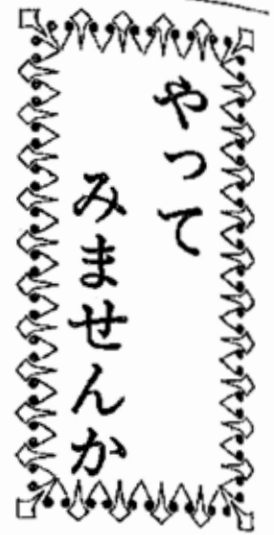
植栗 マンションはだまって入ると先ずだめですし、管理人を通して「色々な方が居るのでやめてもらいたい、大祓でさえ使わない方の分は回収してほしい」といわれるマンション対策はなかなか難しい。

先生 社報を喜んで配ってくれる人もいます。管理人にことわることは大事なことです。

北川(正) 大変な事ではあるが青年会が一つのプロジェクトを作り色々な方法をやってみてデータを作つて提供してもらうと有難いし青年会としてもいい仕事になり、実際管理人の理解度が問題だと思います。

.....◇.....

色々神札の原点に及ぶ話から始まった座談会でありましたが神棚奉斎運動は即ち神札頒布推進とは背中合せの問題であると思われまます。皆様はいかがお考えになりましたか。



境内緑化の水利用について

植樹をしたり、草を植えたりすることも境内緑化になります。もっと初歩的なこと、すなわち現在植わっている草木を枯らさないこと、また早く育て大きく繁らせることも大切です。

草木を生育させるものに、日光、肥料、そして水が必要なこと。は今更言うまでもないことですが、今回はこの水について述べてみます。

水は天からの授かりものです。この大切な雨を、降ったままに土に浸ませることが、木々にとって最も自然な給水になるわけです。

この雨をより多く土に浸ませる方法としては、境内に降った雨を他へ逃がさないようにすることです。その為には境いをほんの少し高くして、降った雨の境内から他への流出を堰止めます。傾斜している境内でしたら段々畑のあぜのようにコンクリート等でワクを作

るとよいでしょう。これで降った雨は充分に境内に浸み込むわけですから。

しかし、ほとんどの場合は、雨水をいかにして排水するかということの方に頭を痛めていらっしゃるのではないのでしょうか。

たしかに境内が大きな水溜りのようになつたり、いつまでも浸み込まずに残っているのは社頭奉仕に差し支えることもあるでしょう。ですから境内地そのものを水の浸み込み易いように変えることが必要となります。永い間踏み固められた地面はなかなか水を透してはくれませんから、数年ごとにたがやすといいいのです。木の根などがありますし、またその土質によっても異なりますが、一尺か一尺五寸位の深さでたがやすといいいでしょう。その時砂を混ぜてならずとよ

り水が浸み込み易くなります。また境内の他と比べて少し低いと思われ場所に浸水用のマスを作ると、木々への給水や雨水のより早い浸水に大きな効果があります。すので次にその作り方を説明します。

(一)下水道等に使用するコンクリー

ト製のマス(なるべく大きなもので底なしのもの)を用意し、横の薄くなっている丸い穴を全てきれいにあける(三面又は四面)。

(二)境内の低い場所(雨が溜まるような所)に(一)のマスの四倍ほどの穴を掘る(丸い穴でよい)。深さはマスの高さの二倍半ほどでよい。

(三)穴の底にマスの四隅に当るよう

に手ごろな石を置きその上にマスをのせる。この石でマスの上辺が地面より二センチほど低くなるように調節する。

(四)マスの囲りを砂で埋める。この時マスの横穴を砂が入らないように(水は通す)丸い石でびったりと外側からふさぐ。地面と同じ面になるまで砂で埋め、マスの中も下辺より少し上まで砂を入れる。

(五)マスの上内辺に合うスノコをはめて終了。

その方法は、紙面もありませんし、前述のマス作り等と比べますと多少手がかかりますのでまたの機会に述べたいと思います。

たしかに雨水を溜めなくてもまたわがわが給水しなくても木々は生きていますが、それは生きていくのがやっつとで、とても枝葉を大きく繁らせるところまではいきません。水を充分に与えることによつて、生長の早い樹勢の強い木に育ちます。もっとも木々の生長のために、前に挙げました通り、水だけやっつてもだめですから、なるべく落葉を捨てずにそれを肥料にできるようにすることがよいのです。木々の囲りを石等で囲ってそこに落葉を溜めるとかいろいろ方法があります。また落葉をためることは単に肥料となるばかりでなく木の根元を乾燥させない為にもいいことです。この落葉の利用についてまた機会がありましたら述べてみたいと思います。

境内のたがやし方、マスの作り

方等、実行されたいかたは、長谷川まで御質問下さればもっと詳しく御説明致しますし、実物をおみ

せすることもできます。

世田ヶ谷 長谷川

事業報告並 活動状況

◇ 六月十日

第一回教養講座 「家相の話」

講師平岩満雄先生 於 神社庁

◇ 六月十七日・十八日

研修旅行会 於 ホテル奥湯本

◇ 六月十九日

東京都神社庁設立三十五周年記念大会が明治記念館で開催され多くの会員が出席した。

◇ 六月二十三日

殉国沖繩学徒頭彰慰霊祭に

香取君参列 於 靖国神社

◇ 六月二十四日・二十五日

神道青年全国協議会第三十三回総会が神社本庁に於いて開催会長に(大阪)南坊城充興氏が選出され、東京は地区理事に小泉会長・指名理事に香取渉外部長、大野庶務、監事に押見副会長がそれぞれ就任された。

◇ 六月二十七日

都氏青協定時総会開催於神社庁

◇ 七月七日

都氏青協幹部会開催

◇ 七月八日・九日・十日

神青野球部・東西神社人野球大会に参加 於 神戸

奮闘むなしく五チーム中四位

◇ 七月九日

日本を守る東京都民会議準備委員会

渡辺・香取両君出席 於 神社庁

◇ 七月十日

一都七県神社庁親善野球大会

神青野球部参加 準優勝

◇ 七月十七日

日本を守る東京都民会議結成大

会 於 砂防会館

◇ 七月十七日・十八日

渡辺総務部長他会員十数名出席

◇ 七月二十日

襖練成講習会 於 武洲御岳山

◇ 七月二十三日

神青協役員会 於 神社庁

◇ 七月二十三日

東京都神道人野球大会

神青野球部参加 於 外苑球場 準 優勝

◇ 七月二十八日

ボーイスカウト朝拝行事 奉仕

青少年の教化育成の一環として

山中湖に於ける朝拝行事に

中田教養部長、細野君 奉仕

◇ 七月三十日

懇親ソフトボール大会

於 神宮外苑軟式野球場 参加チーム七、参加者 九十名

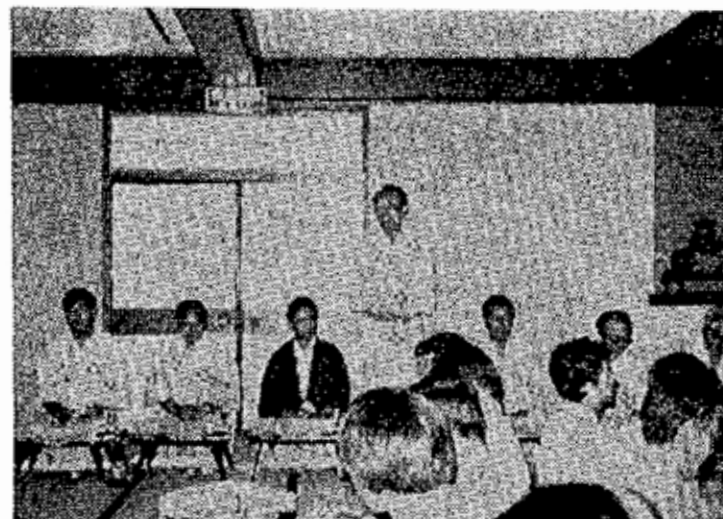
○ 研修旅行

箱根神社を正式参拝後、同神社宝物殿を詳しい説明の下に拝観し、社務所に於いて浅川先生に「箱根神社をめぐる四方山話」という題で講演を御願致し、我々青年神職に「歴史を踏まえ、広い視野を持ってこれからの社頭奉仕に邁進して下さいます」との激励のお言葉で結んで頂いた。



続いて、ホテル奥湯本に於いて懇親宴会を持ち、大変賑やかなうちにもホットな一次会となり三卓の中国研究会と二十名を越す二次会とに分れ、全員が酒に

つまり、湯にっかり、話の華を大きく広げた楽しい旅行会でした。 事業部



○ 襖練成講習会

武洲御岳山、綾広の滝、御嶽神社服部宮司宅(麻知家)に於いて道彦に齊藤成徳氏、助彦に斉藤直孝氏を御願いして四十名の参加者の下、一両日にまたがる襖練成が行なわれた。

又、御岳神社代表役員金井俊雄氏に御願いして「御岳神社縁起・年中行事・お山の生活」についての講話を伺った。

特に神社庁教化部長杉本氏には開講式より両日会員と一緒に



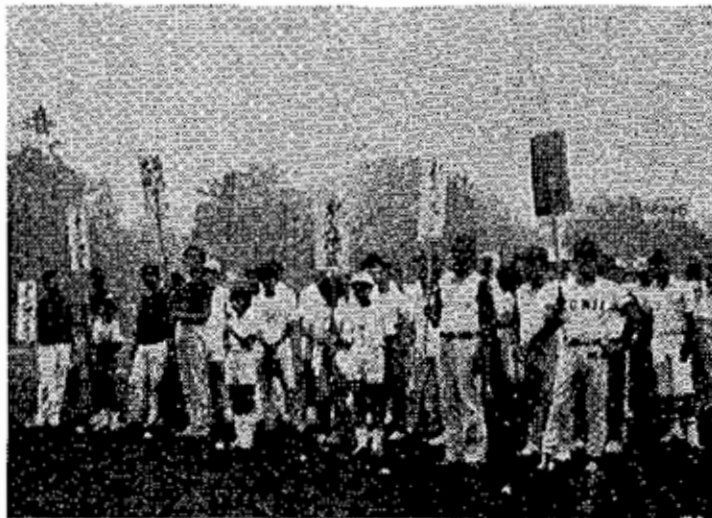
女性二名が参加、少々気の散った会員も？文京のホープ「イケゴン」こと池田正雄君も初参加お粥二食では、ちよつと減量



に参加戴き、鈴木副庁長には閉講式に御出席いただきました。

○ 第三回 ソフトボール大会

小雨が降りしきる、ぬかるみのグラウンド状態の中、第三回ソフトボール大会が決行された。当初の予定では、雨天時は卓球大会に振り替える事となっていました。この日しかグラウンドの使用が取れず、又「どろんこになり、びしょぬれになっての大会も良いものではないか」との温かい又、心強い声に促がされての開催の運びとなりました。



今回は多摩地区連合チームの参加を得、第一地区―第六地区の六チームに加えての七チームの勝抜き戦と相成り、九十名近い

会員が将に一丸となつての大会となりました。時折リスコールまがいの強い風雨にみまわれ、しばし中断しましたが、それにもめげる事なく敗者復活戦を含め九試合を行い、最後は管理上の面でグラウンドの使用禁止の通告が出され、多摩地区連合チームと品川・大田連合チームの相手が優勝を分かち合いました。



続いて同所のスポーツマンクラブに於いて閉会式及懇親会を開催、明治神宮宮司高沢先生、同神宮外苑長の谷口先生の御臨席を賜わり、どろんこの会員を前にして、高沢先生より「この闘

志を社頭に持ち帰って発揮して

いただきたい」との温かいご挨拶をいただきました。楽しい懇親の中にお開きになった。

来年は是非共晴天の下会員の好評を展覧したいものです。

◇ 八月八日

雅楽講習会・夏季合宿が鳩森八幡神社に於いて行なわれた。

◇ 八月二十七日

都氏青協幹部会

◇ 九月二日

第二回教養講座 「家相の話」講師平岩満雄先生 於 神社庁

◇ 九月三日

東京都民会議於千駄ヶ谷区民館 当会より香取君出席

◇ 九月十七日・十八日

神青協役員研修会が日光東照宮研修会館に於いて開催された。当会より押見、香取、大野の三君が出席した。

◇ 十月五日

都氏青協定例会 於 日枝神社 七単位会 三十五名が出席

◇ 十月十六日

東京都民会議開催 於 神社庁

◇ 十月二十一日

第三回教養講座 「家相の話」講師平岩満雄先生 於 神社庁

◇ 十月二十三日

都氏青協各单位会々長会議開催

◇ 十月二十六日

雅楽講習会々員により

大麻頒布式 奏楽奉仕

◇ 十月二十七日

日本を守る国民会議結成大会

於 ホテル・ニューオータニ

当会より渡辺、香取、鈴木(昭)

の三君が出席

◇ 十一月十日

都氏青協二十周年記念大会実行

委員会各部長会議が開催された

◇ 十一月十一日

教化委員会 於 神社庁

◇ 十一月十七日・十八日

神青野球部総会及懇親会が、熱

海「新かど」に於いて開催され

新監督に滝夷氏が就任された。

◇ 十一月二十日

雅楽講習会々員により

新嘗祭 奏楽奉仕

◇ 十一月二十九日・三十日

忘年旅行会開催 於岡本ホテル

◇ 十二月三日

神社庁青少年対策委員会

◇ 十二月六日

府中刑務所に於ける大赦式行事

に、中田教化部長、鈴木、今井

の三君が奉仕

◇ 十二月九日

第四回教養講座 於 神社庁

「社頭に於ける俗信仰への対応」

講師平岩満雄先生

○ 忘年旅行会

於岡本ホテル

会員を始め、多くの先輩諸兄氏

のご参加を頂き、総勢三十三名

が歳を忘れて楽しい宴を持つこ

とが出来ました。その一つには

小泉会長の名古屋帰りがありま

した。会長として少しでも早く

会場へ着こうという律義さが、

「こだま号」より「ひかり号」

へと乗り替わった事と拝察する

外無く、それでもたいした遅れ

もなく宴席に着かれました。と

たんに会場が和やかになったの

で「さすがは会長だ」「さすが

四十ノ」の声や「東京の会長だ

けでなく全国もねらっているん

だ」等の声もあがった。しかし

今任期を終えると勇退とのこと

残念至極でした。賑やかな宴で

残されたもの、酒百十本、ビー

ル六十本、ウイスキー四本の空

ビン、これだけ飲めば年忘れ間

違いなし、そうそう
次回の旅行会は乗越し出来ぬ終
点の会場捜しも大変

事業部長 小野

◇ 一月十三日

新年互礼会 於 神田明神会館

神社庁長松山先生を始め御来賓

会員合せて約百名が出席という

盛大な中にも楽しい懇親の宴が

持たれた。

◇ 二月十二日

神棚奉斎運動座談会 於神社庁

平岩満雄先生を講師に迎え会員

三十余名出席のもと教化部、教

養部合同により開かれ熱心な討

議がかわされた。

お知らせ

事業部より

懇親ボーリング大会

来る三月四日(木) 二時集会

於後楽園ボーリングセンター

教化部より

日の丸パレード

来る三月二十一日 九時集合

詳細は後日連絡致します。

雅楽講習会

毎週火曜日神社庁に於いて雅楽

講習会を開催しております。三管

三鼓の御指導を頂いて居ります。

初心者の方大歓迎。

編集後記

今回は神棚奉斎運動の座談会を

載せましたが、皆さんの会報です

ので「やってみませんか」のコー

ナー等投稿をお待ちしています。

昭和五十七年二月二十日

東京都神道青年会

東京都港区元赤坂二二二一三

東京都神社庁内

電話 四〇四一六五二五(代)

